

# あきる野市郷土の恵みの森構想

～「環境都市あきる野」の実現に向けて～



平成22年3月  
東京都あきる野市

# 郷土の恵みの森構想策定にあたって

～「環境都市あきる野」の実現に向けて～



あきる野市は、都心から40~50km圏内に位置する水と緑に恵まれた伝統と文化が息づく都市であります。市西部に広がる関東山地と秋留台地、秋川や平井川などの河川沿いの低地、台地を取り囲むように分布する草花、秋川、滝山の丘陵地などの変化に富んだ地形が、あきる野の肥沃な大地と豊かな森を創り出し、私たちやあきる野の地に生きる動植物まで、すべての生物は、大地や森、清流などに抱かれ、その命を育んできました。人が暮らすの中で、山林や里山、鎮守の森といった森を守りながら利用することで森の環境が向上するなど、人と森との良好な関係は、豊かな森の恵みを生み出し、文化を築き、このあきる野を創りあげてきました。そして、あきる野に生きる私たちの中には、古の秋川人・五日市人の進取の精神が息づき、森のあるふるさとの風景を懐かしみ、誇りと感じ、大切に想う郷土愛や自然愛が脈々と受け継がれてきていると思います。

市域の約60パーセントを占める森は、木材等物質生産のほか、水源かん養、土砂流出防止、生物多様性の保全、地球温暖化緩和などの機能を発揮しながら、きれいな空気、おいしい水、さらには四季折々の美しい自然を私たちにもたらしてくれます。

しかし、森を取り巻く環境は、木材価格の低迷や林業従事者の減少、ライフスタイルの変化などにより、継続的な維持管理をしていくことが難しい状況であり、このまま何も手を打たないと、森の荒廃が進み、永きにわたり受け継がれてきた大切な財産である森とその豊かな恵みが失われてしまうかもしれません。

そこで、あきる野市では、森づくりから「環境都市あきる野」を実現するため、市域の森をみんなの共通財産として捉え直し、10年後、50年後、100年後の将来を見据えた森づくりを行い、地域の皆さんのがんへの想いや夢をかたちにする「郷土の恵みの森構想」を策定しました。この構想は、将来にわたって、様々なかたちで森を保全・利活用する市民や企業、市などのあらゆる主体が協働で森づくりを行っていく道標となります。環境保全のためのふるさとの森づくりを市民と協働で進めることは地域力の向上につながり、地域の活性化とも結びつくものです。そして子どもたちには、どうすれば愛するふるさとを持てるかを教えることができると思うのです。

これから、あきる野市の新しい環境政策が地域の皆さんとあらゆる主体とが協働して展開されます。郷土の恵みの森づくりを着実に推進するため、多くの皆さんのご参加をお願いいたします。

平成22年(2010年)3月

東京都あきる野市長

仁井 孝



# 目 次

---

<b>1 『郷土の恵みの森構想』とは .....</b>	<b>1</b>
(1) 構想策定の背景 .....	1
(2) 構想の位置付け・役割 .....	5
<b>2 あきる野市の森の特徴と森づくりの課題 .....</b>	<b>7</b>
(1) 森の特徴 .....	7
(2) 森づくりの課題 .....	18
<b>3 あきる野市が目指す森づくりの姿 .....</b>	<b>19</b>
(1) 基本理念 .....	19
(2) 「郷土の恵みの森」とは .....	20
(3) 森づくり（利活用）の基本方針 .....	22
<b>4 森づくりの方向性 .....</b>	<b>23</b>
(1) 森づくりの基本的な視点～環境の森づくり～ .....	23
(2) 類型別森づくりの方向性 .....	24
(3) 地区別森づくりの方向性 .....	33
①戸倉地区（戸倉財産区） .....	34
②小宮地区 .....	36
③深沢地区 .....	38
④菅生地区 .....	40
⑤草花丘陵 .....	42
⑥秋川・滝山丘陵 .....	44
⑦三内・横沢地区 .....	46
<b>5 次世代につなぐ森づくり .....</b>	<b>50</b>
(1) 価値を高める経済の森づくり .....	50
(2) 森に親しむみちづくり .....	53
(3) 地域の魅力を高める森づくり（モデルプラン） .....	56
①魅力ある観光の森づくり（深沢地区） .....	56
②里山への回帰による森づくり（菅生地区） .....	58
<b>6 「郷土の恵みの森」の実現に向けて .....</b>	<b>61</b>
(1) 市民と協働の森づくりを進めます .....	61
(2) 国や東京都、他自治体などとの連携による森づくりを進めます .....	63
(3) まず、できることから始めます .....	63
(4) 「楽しみながら」できる森づくりを進めます .....	63
(5) 「あきる野だからこそ」できる森づくりを進めます .....	63
<b>用語解説 .....</b>	<b>64</b>



## 【コラムリスト】

- 「五日市」とも呼ばれ、秋川流域の産業を支えた“黒八丈” ..... 9
- 永い歴史が刻まれた豊かな「大地の恵み」 ..... 10
- 里山の昔と今（菅生地区） ..... 15
- 森との共生に向けた新たな取組 ..... 16
- 「健全な森」ってどんな森？ ..... 17
- 貴重な動植物がすむあきる野 ..... 26
- 秋川産材の利用促進を目指して ..... 27
- 菅生若宮地区子ども体験塾事業「里山探検隊」 ..... 28
- 五日市憲法草案～自由民権運動期の憲法私案～ ..... 29
- 「めざせ健康あきる野21」のウォーキングの取組 ..... 30
- 大自然を楽しむ渓流釣り ..... 31
- 森の多面的機能を高めるために～市内のモデル的な取組の紹介～ ..... 32
- 慈勝寺の2本の巨木～モッコクとタブノキ～ ..... 43
- 横沢入里山保全地域における保全活動 ..... 47
- 発掘！各地区の特徴的な資源 ..... 48
- 戸倉財産区 ..... 50
- フットパスとは? ..... 54
- 次世代に残したい「鎮守の杜」 ..... 60
- 市民と協働の地域づくり ..... 61

### 【本文中の注釈について】

- ①※マークがついている語句は、ページの下に用語解説を掲載しました。
- ②＊マークがついている語句は、P64からの「用語解説」に解説を掲載しています。  
ただし、本文中ではその語句が初めて使われているところにのみマークを付けました。